

社会福祉法人「福寿園」機関紙

[愛と感謝と奉仕]

ひまわり



② 年頭のごあいさつ

③ 福祉QC全国発表大会 最優秀賞受賞
海外等現地セミナー報告

④ 新春特集「新年の抱負」

⑥ 令和6年度職員旅行

⑦ 連載vol.70 ● [記録に残したい記憶]
～貴重な体験を語り継ぐ～

⑧ 各施設トピックス

⑫ 福寿園ニュース/たぶトピ

⑭ 家族会だより

⑯ 連載 ● 外国人介護士紹介インタビュー
連載 ● 施設長・管理者のリレーコラム
読者アンケート

179号

令和7年1月10日

新年号

謹賀新年 皆様のご健康を ご祈念申し上げます



理事長 古田 周作

旧年中は、弊法人に対し格別のご厚情を賜りまして誠にありがとうございました。また、何かと多難な時代にこうして無事に新年を迎えることができましたことを心から感謝申し上げます。

昨年は、元日に能登半島地震が発生し大混乱のスタートとなりました。さらには、猛暑や台風、豪雨など災害に対するリスクが高まった一年でありました。法人の経営にとっては、物価高騰、人材不足、制度改正など対処すべき課題が多い年でありました。

そんななか、法人は健康経営優良法人認定への取り組みを前提に、健康経営宣言を发出し、働きやすい職場作りを組織として全員で取り組んでいく方針を出しました。また地域共生社会の実現に向けて、D&I（ダイバーシティ&インクルージョン）経営を推進していくことも表明いたしました。これらの取り組みが今後、職員の離職防止や生産性向上にも繋がっていくことを期待しています。また事業にあつては、従来から蓄積された外国人受入れノウハウを他法人にも還元しようと、特定技能の登録支援機関を立ち上げました。田原福祉グローバル専門学校との連携を通して事業の推進を図っていきたいと思います。

今年度は、法人創立45周年の小節目となります。2025年で一区切りとなる中長期経営計画を新たなヴァージョンに変えていく検討が必要となります。その中で2040年に向け、人口減少社会における法人の事業戦略の方向性を示していきたいと考えています。

今年度は巳年です。蛇は苦手ですが、「巳」が「実」になるよう尽力していきたいと思っております。今年も変わらぬご理解とご協力をお願い申し上げますとともに、皆様にとって明るく楽しい年となりますようご祈念申し上げます、新年のご挨拶とさせていただきます。



常務理事・施設部長

中立 次夫

旧年中は弊法人に対しまして、格別のご理解とご支援を賜りまして誠にありがとうございました。

昨年は未曾有の物価高の中で大手企業は5%を超える賃上げを行いました。一方で、令和6年度介護報酬改定は、引き上げ幅はわずか1.59%、その内0.98%が賃上げの原資でした。他業種との賃金格差は開くばかりで、人材確保が困難を極めていました。また令和6年度は医療報酬の改定も同時に行われ、協力医療機関及び協力歯科医院との連携が前にもまして求められるようになり、制度は益々複雑化し、生産性の向上や効率化を阻んでいます。そんな中でも「人の役に立ちたい」という純粋な気持ちで頑張ってくれている一人一人のスタッフが働きがいをもって、毎日楽しく利用者を支援できるような職場環境をさらに整えることが経営陣に課せられた大きな課題です。

昨年は能登半島地震や終わりの見えない戦争が世相を暗くしていました。現場だけは明るい笑顔が飛び交う優しい空間にしたいものです。

逆風に負けない強い法人を目指して、さらに邁進していく覚悟ですので、皆様方の引き続きのご支援のほど、よろしく願っています。

福祉QC全国発表大会で最優秀賞

12月2日、東京で行われた第34回福祉QC全国発表大会で、法人大会で優秀賞を受賞した田原福寿園本館のQCサークル「けやきⅢ世」が、午前中に行われた3会場での予選を勝ち抜き、午後から行われた決戦発表の後、審査員2票、参加18チーム1票の投票で、2位以下の倍の得票を得て、見事最優秀賞に輝きました。テーマは「それって本当に介護拒否!? ～ユマニチュードを実践しよう～」でした。職員にアンケートを取って、苦手なご利用者を選んで、どうして突如怒り出すのか、マッパーの協力を得て、Aさんは「目を合

わす」、Bさんは「介護の準備」に着目して、ユマニチュードの実践ができていくかテストをして目標を立てました。決戦の相手は強豪チームでしたが、結果として倍以上の票を集めての日本一ですから、堂々たるものです。これからもご利用者の満足度をあげるために、法人全体でこの活動に取り組んでいきます。



日本福祉施設士会会長 藤田様より賞状を受け取る「けやきⅢ世」のメンバー

海外における介護人材確保セミナー

～モンゴル・タイ編～



将来にわたり、利用者の方々に介護サービスを安心して提供するため質の高い介護人材を確保することは、法人にとって重要な課題となります。福寿園においては2009年から国際協力・施設内の活性化・人材確保等を目的として外国人介護士の採用をしてきました。現在雇用している外国人介護士の出身国（フィリピン・ベトナム・インドネシア）にとどまらず、新たな国にも出向き、日本の良さをアピールしつつ、介護の素晴らしさ

や楽しさを伝えていきます。今回は縁あって、モンゴルとタイの高校や大学等でセミナーを開催しました。セミナーでは、高校生や大学生に向けて日本のこと、介護のこと、福寿園のことをアピールしました。日本については、アニメ（ワンピースやナルト、ジブリなど）に興味を持っており、みんなとても詳しくかったです。日本に興味を持ち、長く介護の仕事をしたという人材を集められるよう努力していきます。



新春特集

2025

新年の抱負

今年の干支は巳です。蛇は皮を脱ぎ捨て新たな姿に生まれ変わることから、巳年は新しい挑戦や変化に対して前向きな姿勢を示す年といわれています。巳年にちなみ、皆さんの新年の抱負をお聞きしました。



頑張ってる。
石本 直美さん
渥美福寿園入居者



介護福祉士国家試験合格!!!
ダナ、マリ
渥美福寿園職員



歩けるようになって“にいに”についていきたい。
まことくん
花の里 託児



今書いている自伝を完成させて本にしたい。
大西 亮子さん
養護盲福寿園入所者



へびのように細くなりしたい!
ダイエット部員
昭和の里職員



少しでも、1日でも元気で長生きしたい。娘のために。
伊藤 弘子さん
田原福寿園デイサービス利用者



大きな怪我なく毎日笑って過ごす!
齋竹 藍子
田原ゆの里職員



だいすきなしょうぼうしゃでいっぱいあそびたいな。
ゆいとくん
豊田福寿園 託児

健康維持のために毎日ウォーキングをする。
杉田千津子さん
パシフィック入居者



ごはんを3杯食べる!
三角 晴美さん
みなみ福寿園入居者



83歳の手習で会話をもう少し勉強して、人前でもあがることなく、誰とでもお話の出来ること、人の心を読み取る力を養いたいと思います。

水本ナガ子さん

ケアハウス きぬうら入居者



3回目の目の手術を終えてまわりがとてもあかるく見えるようになりました。さてこれからは、すばらしいノ(彼)をさがしますか。92才

小野喜美栄さん

ケアハウス みなみ入居者



洗濯ものをためない。

工藤 未来

東海福寿園職員



健康第一!
家族円満!

杉井 繁さん

ひまわりの街入居者



家族旅行のために
お金を貯めます。

アリアン

ひまわりの街職員



入社して早9カ月。介護技術高めつつ、入居者の日々の様子の変化に気づき、安心していただけるような介護士を目指し、成長していきたいと思います。

柿本みくに

ちた福寿園職員



また家族全員で
クリスマスと年越しを
過ごしたい。

ジーデ

ひまわり邸職員



デイサービスの利用者さんと一緒に
美を追求します!

大野志桜里

木田の里職員



声を出して歌って
元気に過ごせたら
と思います。

平原登志子さん

武豊福寿園入居者



“元気でおること!!”このまま歩けるように。

清沢 英雄さん

くすのきの里デイサービス利用者



へびのようにグングン成長する一年にする!

藤田 晏奈

田原福祉グローバル専門学校教員



食事バランスをよく、早番・夜勤の日も朝ご飯を食べる!

ディアナ

くすのきの里職員



令和6年度 職員旅行を 楽しみました

今年度も福利厚生の一環として職員旅行を実施しました。昨年に引き続き、日帰り1泊2日のそれぞれ2コースずつ、計4コースからの選択制としました。家庭の都合や宿泊してゆっくり楽しみたい人など、選択の理由は様々です。行き先は、日帰りが日本平と岐阜犬山、1泊2日は伊勢賢島と伊豆堂ヶ島で、ゆったり8班に分かれて、10月から11月にかけて旅行を楽しみました。美味しいものを食べて気分もリフレッシュ。温泉で癒され、親睦も深まり、楽しいひと時を過ごせました。



A コース
日帰り
日本平ロープウェイで
久能山東照宮とアンビ
松風閣でマグロ海席



B コース
日帰り
秋の岐阜を満喫、犬山
& 懐石料理グルメ旅



C コース
1泊2日
賢島宝生苑宿泊と
伊勢神宮詣り



D コース
1泊2日
伊豆堂ヶ島温泉と箱根
or アニマルキングダム
の選択コース

連載 70

記録に残したい記憶 ～貴重な体験を語り継ぐ～

貴重な体験を次世代へ伝えていくため「記録に残したい記憶」として、ひとりの方にスポットをあてて体験談をご紹介します。

私は、豊田市下室町で4人兄弟の4番目として生まれました。母が6歳の時に亡くなったので、末っ子でしたが幼少期から家族のために家事をし、家業である農業を手伝い過こしました。広瀬第一小学校を卒業後、13歳から18歳までの5年間、四日市の紡績工場で働きました。つらいこともありましたが、給料のほとんどを実家に送りし、頑張って働きました。週末に同じ四日市に住む姉の家遊びに行くことが唯一の楽しみでした。姉と一緒に活動写真を見に行ったことがいい思い出です。18歳の時に夫と結婚し、豊田市千



4人の子どものと

ました。お汁粉が美味しかったのでよく売れたことを今でも思い出します。ゴルフに来るお客さんと色々とおしゃべりするのを楽しかったです。振り返ってみると、本当に色々な仕事を、一生懸命して

鳥町に嫁ぎました。嫁ぎ先のお姑さんはとてもやさしくて、いいひとだったので、4人の子どもの産み育てながら、色々な仕事をしてきました。子育てを活かして助産院でアルバイトをしたこともありました。

森林組合の仕事では、猿投山に植樹をする仕事や、椎茸の菌を培養する仕事もしました。とてもいい職場だったので、同僚との職員旅行が毎年楽しみでした。奈良をはじめ、日本色々な場所へ旅行に連れて行ってもらえたのが、とてもよかったです。家の近くに、南山カントリーができた頃には、14番ホールの売店で働



田中 しゃうさん
(豊田福寿園)

プロフィール

生年月日：大正7年1月5日
年齢：107歳(福寿園最高齢)
趣味：ぬり絵、習字
座右の銘：人間は一人では生きていけない。支えあつて生きていく



豊川稲荷にて

くしたけれど、姉がいたので寂しい思いをせずに過ごせました。結婚をしてからは、とてもいい家庭を築くことができ、4人の子どもの、9人の孫、21人のひ孫、2人の玄孫とたくさん家族に恵まれたことが、何よりも幸せです。



孫と一緒に

田原福寿園南館 めくもりペイント!



赤、白、青
…と鮮やかな絵の具たちを筆先に乗せ、真剣なまなざし



してまっさらだったキャンバスを丁寧に色付けしていく姿は、まさに画伯そのもの!今年で85歳になられる小川春代さんです。クリスマスも近いということで、可愛らしいサンタクロースの絵を描いてくださいました。温かみのあるタッチや色使いに見ているだけで心がほっこりとなった寒い日の一日でした。

ひまわり邸 実習生のレクリエーション

ひまわり邸では多くの実習生を受け入れています。今回は、名古屋経営短期大学の学生さんが20日間の実習の中で、担当利用者を決めてニーズを把握した上で、レクリエーションを行ってくれました。一生懸命準備して、当日は、身体を動かすボウリングと、好きな



物を食べられる居酒屋を企画してくれました。楽しく体を動かすことができ、利用者、実習生、職員含めて楽しむことができました。企画していただいた実習生の皆さん、ありがとうございます。福寿園のインスタも動画で掲載されていますのでご覧ください。

ケアハウスパシフィック ビーチクリーン活動!

パシフィックから徒歩10分、南町海岸にて行われたビーチクリーンに参加しました。海をきれいにするために、朝から張り切った様子の入居者の皆さん。寒さに負けずに防寒具を着用し、一生懸命海岸清掃を行いました。この活動には市の職



員さんを始め、地域の方たちも大勢参加され、交流を深めることもできました。楽しくゴミ拾いをしていくうちに心もきれいに:美しい海岸を守るための活動ができて、とても嬉しく思いました。今後このような地域の行事に積極的に参加し、交流を図っていききたいと思えます。

豊田福寿園デイサービス

もみじ狩り

日ごとに秋の気配を感じる今日この頃、11月20日・21日・22日・26日・27日の5日間、足助の香風溪へ秋を探しに出掛けました。

今年は暖かい日が続いたため、紅葉が少し遅れていましたが、所々赤く染まった木々を見るたびに、秋の始まりを感じる



「秋だねえ」と利用者の皆さんもとても喜ばれていました。屋台もたくさん出ており、五平餅や紅葉饅頭を「美味しいね」と頬張りながら散策しました。

「来年も一緒に行きたいね」と話しながら、思い出に残る1日を過ごすことができて、とても良かったです。

渥美福寿園デイサービス

オンラインで1・2・3!

JOYSOUND

さんが行っているオンラインレクリエーションに参加しました。全国の施設とオンラインで繋がり、「泳げたいやきくん」等の音楽に合わせて、手をあげたり足を動かしたりと、簡単な



運動を行いました。また、12月ということもあり、ご利用者にサンタクロースの帽子を被っていたいただきました。「1・2・3!!」と元気な掛け声がホールに響きわたり、とても楽しくレクリエーションを行うことができました。

保育所きだっこえん みかん狩りをしたよ

保育所きだっこえんの2歳児12名、児童発達支援きだっこ6名の子どもたちが、地域の方のご厚意でみかん狩り体験をさせていただきました。みかん狩りへ行くことをとても楽しみにしていた子どもたち。「い

ってきま〜す」と元気に挨拶し出発!初めて木になっているみかんを見て大興奮でした。保育者が収穫し、子どもたちがカゴに運ぶことで、自然とみんなで協力する姿がみられました。自分で採ったみかんをその場で食べると、「おいしい!」「あま〜い」と満面



の笑顔が広がりました。木田地区の方との交流を通じて、地域の人々とふれあう貴重な機会にもなりました。自然や地域に親しみながら、収穫の喜びや旬の味覚を存分に味わうことができ、思い出深い一日となりました。これからも、「楽しい!」「やってみたい」を大切に活動を取り入れていきたいと思えます。

くすのきの里 家族交流会



田原ゆの里 秋の夜長に乾杯

11月27日に入居者のご家族を招きスナックを開催しました。久しぶりに家族と一緒に食事をしながらゆっくりとお話ができ、笑顔と笑い声の溢れる空間となりました。食事メニューはどて煮や餃子が好評で、「ついついたくさん食べちゃうね」と普段とは少し違ったメニューで皆さん喜ばれていました。余興では昭和の歌謡曲を中心に、職員による弾き語りのミニコンサートを行いました。職員と一緒に口ずさんでいる方も多く、マラカスやタンバリンを渡すと大きな動作や笑顔で盛り上げてくだ

特養1階と3階の6ユニット合同家族交流会を開催しました。食事会の前には、介護技術レクチャーとして移乗介助(北欧式トランスファー)を見ていただき、介護職員が普段どのように考えてケアを行っているか、家族の方にも知ってもらえる良い機会になりました。メインの食事にはお寿司を用意し、また、職員による魚の解体ショーも披露しました。食事を食べながら、ボランティアで来ていただいた銭太鼓さんの演芸・歌を鑑賞し、入居者、家族、職員との懇親がとれる良い時間になりました。



さり、大盛況のうちにお開きの時間を迎えることができました。次回のスナックも皆さまに楽しいひと時を過ごしていただけるよう心を込めて取り組みます。

東海福寿園

秋の文化祭

今年度の夏まつりはコロナの影響で中止となりました。その代わりに、東海福寿園で初めてとなる文化祭を行いました。入居者・職員で行う演



目発表では「ズンドコ節」、「早着替えショー」、「マツケンサンバ」を行いました。作品展示としては、毎月の書道・フラワークラブの作品や、「秋の食べ物」をテーマに入居者と

職員で作品を制作し、飾りました。事前に行った作品投票の結果発表と授賞式も行い、その結果は「2階稲穂・みのりユニツト」の作品が第一

一位に選ばれました。和太鼓サークル響の音色に包まれた後は、お楽しみ抽選会。初めて行う文化祭で職員も手探りではありましたが、多くのご家族が参加され、入居者・家族の沢山の笑顔を見ることができました。

ケアハウスみなみ

弦楽器4重奏コンサート

11月24日の昼下がり、ケアハウスみなみのロビーがコンサート会場になりました。入居者のお友達の方がボランティアでコンサートを開催してくださいました。バイオリンとチェロの生演奏が始まり、オープニング曲に「東京ブギウ



ギ」が演奏されると、入居者の方も自然と体がスイングします。その後も馴染みの曲「もみじ」などが演奏され、最後には、クリスマスソングの「あわてんぼうのサンタクロース」全8曲が見事に演奏されました。生で弦楽器の演奏を聴くのが初めてな方もみえ、「素敵な音ね」との声が聞かれ、短い時間でしたが、とてもやさしい時間を過ごすことができました。

ひまわりの街

竹村学区防災体験会

12月1日、竹村小学校で自治区、豊田市防災対策課、上下水道局、消防団協賛の防災体験会に参加しました。「防災体験」として防サイ君（地震体験車）、消防ポンプ放水、避難所設営体験」として、間仕切り簡易ベッド、簡易トイレ体験などのブースを回り説明を受けました。避難所は床に段ボール



が発災後、地域の福祉避難所であるひまわりの街から、市へ道具の要請が可能なこと。そのためには避難者の情報を集約し、報告する必要があるので知りました。このような知識の共有や自治区、他の事業所と話し合う場を作り、災害に備える重要性を改めて感じました。

養護盲福寿園

鳥たちとのふれあい

段々と寒さが増してきた冬の日、久しぶりにみんなでおでかけをしよう、静岡県にある掛川花鳥園へリフレッシュに出掛けました。掛川花鳥園では様々な綺麗な羽根の色をした鳥たちとふれあうことができ、入所者さん達も手や肩に色とりどりの鳥を乗せて楽しめました。実際に手にグローブを付け、フクロウを腕に乗せてみた入所者さんは、「こんな体験は初めてだ。」と大きさに驚き、



貴重な体験ができてよかったと喜ばれていました。

ISO維持審査

12月2日から4日までの3日間、4人の審査員にお越しいただき、7拠点のISOの運用状況を審査していただきました。品質目標として部署ごとのQCテーマに取り上げ、12月2日に行われた全国福祉QC発表大会で田原福寿園本館のチームが最優秀賞を獲得したことや、地域交流・貢献事業を高く評価していただきました。一方で、初めてケアプランの計画作成遅れが軽微の不適合の指摘を受けて12月中に改善報告書を提出、今年全拠点で確認することとなりました。マニュアルの8.3.6設計・開発の変更に「事業所が計画の変更が必要と判断した場合は、サービス計画書を変更する」とあり、要求事項では文書の保持が求められています。介護計画は介護保険法で定められた基本中の基本であり、今回指摘を受けたことを真摯に受け止め改善に努めてまいります。



第6回 福祉の心をはぐくむ集い

11月4日、田原文化会館文化ホールにて、福寿園の後援会である福寿園をはぐくむ会「未来」との共催で「福祉の心をはぐくむ集い」を開催しました。



オープニングは、成章高等学校吹奏楽部の皆さんによる演奏で始まり、第1部では、「福祉の心」絵手紙・作文表彰式を行い、小中学生が制作した感性豊かな作品が表彰されました。絵手紙部門では愛知県知事賞や田原市長賞などが授与され、作文部門では優秀作品の朗読も行われました。

第2部の福祉講演会では、株式会社ネットアーツおよびココトモファーム代表取締役の齋藤秀一様が「誰ひとり取り残さない居場所を創る」というテーマでご講演され、農福連携を通じた地域創生への取り組み等が語られました。本事業を通じて、多様性を尊重する社会づくりの大切さを改めて実感しました。

位牌堂改修落慶・入仏法要

養護盲福寿園

福寿園では身寄りのない物故者について、ご依頼を受けて永代供養を行っています。現在養護盲老人ホーム福寿園敷地内にある四季の丘の納骨・供養塔に、お骨を安置・供養していますが、施設開設当初は同施設の仏間奥の旧納骨堂（位牌堂）に安置・供養していました。

今般この旧納骨堂（位牌堂）から収骨して、四季の丘へ納骨し一緒に安置・供養ができる形となり、これと併せて位牌堂を改修いたしました。

去る12月20日に、龍泉寺様をお迎えして、ご縁ある皆さまにもご参集いただき、物故祭と併せて位牌堂改修落慶・入仏法要を営ませていただきました。四季の丘と共に養護盲の入所者をはじめ多くの皆さまの心の拠り所となってくれることと思っております。ありがとうございました。



EPA16期生、ようこそひまわりの街へ!

ひまわりの街



新しい仲間として、16期EPA候補者3名(フィリピン)がひまわりの街に配属されました。

ひまわりの街でのEPA候補者受入れは、久しぶりだったので、職員会議で施設の職員に研修を行うなど、施設全体で歓迎ムードを高めてきました。12月9日に本部での歓迎会が行われ、候補生たちは「楽しかった。温かく迎えてくれてうれしかった。優しい職員ばかりで安心した」と少し表情が和らぎました。

先輩外国人介護士はじめ、施設の皆さんに助けをもらいながら、一步一步進んでいってほしいです。

「毎日2時間以上勉強する!」と3年後の介護福祉士国家試験合格に向けて、決意を発表してくれました。これから仕事と学習の両立を頑張っていきましょう!

成章高校生の食育講座

たっぴく児童クラブ

成章高校の生活文化科の生徒22名が、児童のために、食育講座と米粉クレープ作りを行ってくれました。3年生から6年生の児童を対象に、普段高校の授業で学んでいる食育について、児童たちに教えてくれました。はじめは緊張していた生徒たちも慣れてきて児童と一緒に会話も弾み、そのまま一緒にクレープを作りました。地元の食材を使った惣菜とフルーツのクレープを2種類作り、児童達もおなかいっぱい、笑顔もいっぱいの食育講座となりました。成章高校の皆さんありがとうございました。



さつまいも、見つけた!

田原福祉グローバル専門学校

日本語学科の学生有志20名が、社会福祉法人成春館さんの畑で育てているさつまいも掘りに参加してきました。大きなスコップ片手に、職員さんに教えてもらいながら芋を傷つけないように慎重に掘っていきます。最初はスコップを上手に使用せず、なかなか掘り進めることができませんでしたが、慣れてくるとあちこちから「あった!」「掘れた!」と嬉しそうに報告する姿が見られました。今回、初めて芋掘りをする学生も多く、貴重な経験となりました。



マイクロバスを寄贈いただきました!

ケアハウスパシフィック

入居者の渡會弘子様より、マイクロバスをご寄贈いただきました。ご厚意に深く感謝申し上げます。



「皆で賑やかに出掛けたい、楽しい思い出を作りたい」、そのような思いを語られ、この度となりました。

この施設のみに限らず、幅広い形で使用させていただくことをご理解して下さい、今後の施設のお出かけ企画をはじめ、田原福祉グローバル専門学校で運営する児童クラブの子ども達の送迎等、色々な場面で活用させていただこうと思います。本当にありがとうございました。

非常用備蓄品を追加しました

令和6年の正月の能登半島地震を受けて、防災備蓄品を見直し、その後に非常食の期限管理を行っている原商事(株)さんと東京の防災



エキスポを視察して備品を選定し、この度各施設に配備がほぼ終わりました。凝固剤やバッテリー等劣化するものの期限管理も非常食に含めて業者さんに一括管理してもらいます。まず、発電機は室内では使えませんので、拡張バッテリーをつければ5120Whの蓄電池、付属備品としてLEDバルブライト、車のエンジンから充電できるモービルくん、自動密閉トイレ、匂わない特許素材を使った使い捨てトイレ、7年及び10年保存のウェットタオルとウェットティッシュ、レディスセット、ダンボールベッド等です。災害時には各施設で融通しあう予定で、法人の防災力がまた一歩向上しました。

認知症専門相談窓口を開設

ひまわり邸

豊田市の委託を受け、認知症に関する相談窓口として「オレンジほっとテラスひまわり邸」を開設しました。認知症の方との向き合い方や支え方などについて、長年に渡って関わった経験や研修で得た知識をもとに相談を受け付けます。住み慣れた地域で過ごしていくため、認知症の方だけでなく、支援するご家族の方々も支えていながら、住みやすい街作りをしていきます。



家族会だより

● 家族会会長 年頭のごあいさつ

ありがとうございます
おあをきう
こびります



田原福寿園
家族会会長
大場 可

皆様におかれましては、健やかに新年を迎えられたこととお慶び申し上げます。

昨年は納涼祭や野外フェスをはじめ、各種行事において家族会員の皆様のご協力をいただき、入所者も家族も楽しめる行事を施設と共に実施できたことを大変感謝しております。野外フェス前には、草取りボランティアにも多くの参加をいただきました。当日は地元有志のステージや飲食パザールを屋外でゆつくりと家族で楽しむことができ、多くの皆様にもご来場いただけたことは、地域の中に根付いた福寿園を再認識できる機会となったと思います。

今後も家族会として入所者に潤いのある生活を支援して参ります。本年も皆様にとって幸せな一年となりますようお祈り申し上げます。



田原ゆの里
家族会副会長
伊藤 幸次

皆様におかれましては健やかな良いお年を迎えられたこと心よりお慶び申し上げます。家族会の皆様におかれましては日頃よりご理解、ご協力をいただき誠にありがとうございます。又、昨年は「田原ゆの里」開設10周年企画のイベントを始め恒例の園内環境整備、スナック、餅つきなど年中各行事にご参加いただきありがとうございました。

さて、今年は何年です。日頃からの脱皮、さらには新しいことへの前向きなチャレンジもよいかと思えます。多くの方々が行事への参加されることなど、さらにはイベントへのアイデアもお待ちしております。家族会の行事は入所者とその家族同士のふれあいができます。どうぞ、多くの方のご参加ご協力をよろしく願います。管理は入所者ひとりひとりに寄り添った温かな介護を賜り心より感謝申し上げます。

入所者、職員、家族会の皆様が素晴らしい年となりますよう願うと共に、関係するすべての皆様のご健康を祈願し、年頭の挨拶とさせていただきます。



渥美福寿園
家族会会長
太田 直樹

皆さまには輝かしい新春を健やかに迎えることと心よりお慶び申し上げます。

職員の皆様には、日頃より、家族の介護にいただき大変感謝しています。こうして、笑顔で元気に過ごしているのも職員の皆さんのおかげです。さて、昨年は、家族会の活動も予定通り行うことができ、夏まつりも地域の方々やご家族の参加が多く盛大に行うことができました。ご協力いただいたご家族の皆さんにも感謝申し上げます。今後も家族会として施設を側面から支援ができるように努めていきたいと思えます。最後になりますが、新たな年が希望に満ちた飛躍の年でありますように祈念申し上げます。年頭のご挨拶とさせていただきます。



花の里
家族会会長
小久保昌彦

入所者の皆様、家族の皆様、職員の皆様におかれましては、良き新年をお迎えの事とお慶び申し上げます。

旧年度はコロナも五類に移行されたものの、まだ油断を許さない状況にあります。そんな中でも家族会の行事も行うことができました。花壇の草取り作業も、皆さん汗をかき、真剣に取り組みました。また、夏祭りにおいては、一昨年より多くの地域の方々との交流もあり、家族一緒に楽しい時間を過ごすことができました。準備を初め、片付け等スタッフのおかげです。感謝に堪えません。本当にありがとうございます。

本年も、昨年と同様に家族会としていろいろな活動に協力していくつもりです。最後になりましたが、本年が皆様にとって、幸せな一年となりますように、お祈り申し上げます。



豊田福寿園
家族会会長
宇野 晃

職員、家族会の皆様におかれましては、穏やかに新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。昨年は新しく施設長を迎え、充実した一年であったと振り返ります。晴れ男の看板を背負った施設長はお見事でした。雨にも負けず、夏の暑さにも負けず、計画されていたすべての行事を盛大に行なうことができました。職員の皆様、本日に御苦労様でした。そして、大勢の御家族様の参加、誠にありがとうございました。今後も変わらぬ御理解、御協力を賜り、福寿園の発展に力添えできればと考えております。今年も施設建替えの準備等、大変な一年であることが予想されます。健康には、十分留意され、皆様にとってこの一年がすばらしい年でありますよう祈念申し上げます。年頭の挨拶とさせていただきます。



みなみ福寿園
家族会会長
小野 英樹

アフターコロナも2年が経ち、感染防止を図りながら様々の行事が戻ってきました。6月のBBQ大会、8月の盆踊り、そして10月には7年ぶりに芸能人を招いてのみなみフェスタが実施できました。また、草取り・清掃奉仕も過去最多のご参加を頂けたので、これまでなかなか手の届かなかったところまで行うことができました。これは、コロナを乗り切り利用者の安全・

安心を第一に考えて下さっている職員の方々へ少しでも恩返しをしたいという強い想いの現れと感じました。ご協力、ありがとうございました。

これからも職員の皆様と家族会が力を合わせて行事を企画して参りますので引き続きご協力賜りますようお願い申し上げます。



ひまわりの街
家族会会長
田中 雅裕

「コロナ感染症の終息が足踏みの中、インフルエンザ等の感染も広がり、職員のみならずには、毎日入居者の懸命なお世話をいただき、心から感謝申し上げます。

昨年は、以前のように環境美化やバーベキュー、夏祭りや忘年会など、入居者、家族会、職員の皆様と触れあえる機会をたくさん作っていただきました。有難うございました。今年も入居者が「ひまわりの街」で生き生きと楽しく生活できるように、家族会は職員の皆様と力を合わせて盛り上げていきたいと思えます。

最後に、「ひまわりの街」の益々のご発展と、職員の皆様や入居者ご家族のみならずとて素晴らしい一年になりますよう祈念し、年頭のご挨拶とさせていただきます。



ひまわり邸
家族会会長
横井祐一郎

旧年中は格別のご支援を賜り、心より

御礼申し上げます。

さて、昨年2024年はパリオリンピックが開催され、日本選手たちが素晴らしい成績を残しました。その反面、日本国内では気候変動や異常気象による自然災害が増加しています。例えば夏については過去数年間で夏の気温が上昇しており、2025年も同様の傾向が続く可能性があるとの予想も聞かれました。その様な状況の中、新たな年も始まり職員の方々には昨年同様、利用者の体調管理に層のご苦労をお掛けすることになると思います。2025年が始まり、私共家族会は皆様のお力添えを受けながら今年年頭張つて参りたいと思えます。本年も変わらぬご協力のほど何卒よろしくお願い申し上げます。



武豊福寿園
家族会会長
石川 彰

昨年は様々な出来事があり、私達の生活や価値観にも大きな影響を与えました。年明け早々に北陸能登地方で大地震が発生し、今現在も避難生活を余儀なくされている方がいます。世界に目を向けるとロシアとウクライナによる戦争始め、各地で争いが激化しています。そのような中においてもスポーツ界ではパリ五輪やメジャーリーグでの日本人選手の活躍がメディアで伝えられ、大きな勇気を与えてもらったものです。私達はこれらの出来事を教訓にしていく事が大切だと思います。

本年も皆様と共に成長し、支え合い、喜びを分かち合える一年にするために、引き続き努力して参ります。皆様にとって光溢れ

る一年になりますよう、お祈り申し上げます。



くすのきの里
家族親睦会
世話人代表
清水 恒義

皆様におかれましては、健やかに新春をお迎えのこととお慶び申し上げます。

昨年、くすのきの里におきましては、コロナ禍前の頃の催しが行われ、中でも第三回くすフェスでは、大いに盛り上がり、笑顔溢れる楽しいふれあいの機会を得ることができましたことは本当に嬉しい限りでありました。

これもひとえに施設長始め職員の皆様のお陰であり、ここに深く御礼を申し上げます。本年におきましてもこの様な楽しい機会が得られることを願いつつ、皆様にとりまして幸多き一年となりますようご祈念申し上げ新年のご挨拶とさせていただきます。



東福寿園
家族親睦会
世話人代表
寺田 稔

入所者の皆様、家族の皆様、職員の皆様におかれましては、良き新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。

印象に残る昨年の行事を振り返ります。夏の施設内清掃活動では鳩のフン除去に対する参加者皆様の頑張り感謝します。用意していただいたその後のバーベキューで家族相互の親睦を深めることができました。また、コロナの影響で中止となった夏祭りに代え、初の文化祭を秋に開催で

きました。

スタッフの皆さんが練習した素晴らしい芸や、入所者による作品展を家族ぐるみで楽しみました。親が喜ぶ顔を見ることのできたことに感謝します。

本年も、皆様のご支援とご協力を賜りますようお願い申し上げます。



ちた福寿園
家族会会長
松本 直明

入所者、家族会および福寿園職員の皆様におかれましては、健やかに新年を迎えられたこととお喜び申し上げます。

昨年は、早々に能登半島地震が発生し、福寿園の職員の方が現地の介護施設を支援されるなど慌ただしい年明けとなりました。

新型コロナウイルスについても予断をゆるされない状況が続きましたが、福寿園の利用者においては、健康で快適な日常だったのではないかと感じています。

これも、施設長、管理者をはじめスタッフの皆様が、感染予防対策の厳守、入所者への細心の健康管理等を的確に実施していただいたのおかげです。

また、ちた福マルチエなど地域との親交を深める催しを発展的に実施していただきありがとうございます。

本年におきましても、職員の皆様と家族会が協力し、明るい年にできればと思えます。最後に、皆様のご多幸を祈念して新年の挨拶とさせていただきます。



連載

施設長・管理者の リレーコラム



地域密着型複合福祉施設 田原ゆの里

管理者 今泉 友秀

寒さが身に染みるようになりました。この時期は特に体を動かすことが億劫になりがちですが、そんな寒い季節に行われるスポーツといえば・・・そうです。マラソンです。今年もマラソンシーズンが始まりました。私は趣味でランニングをしています。冬の寒さに耐えながら、毎日コツコツと練習に励み、今年度は7つの大会に出場予定です。1月にはフルマラソンにも初挑戦しますので、とても楽しみにしています。

昨年、娘が高校生になりました。陸上部に所属し、毎日夜遅くまで練習をして帰ってきます。娘の頑張りを見て父親ながら感化されると同時にまだまだ自分も負けられないと思う気持ちが湧いてくるこの頃です。これからも娘を応援しつつ自分磨きも頑張りたいと思っています。

春になるともう一つの趣味、トライアスロンが始まります。日々の充実と目標を持ちながら健康第一に過ごしていきたいと思っています。

次号は、豊田福寿園の柘植施設長へバトンを渡します。



福寿園では、現在105名(フィリピン人 69名、ベトナム人 28名、インドネシア人 8名)の外国人介護士が各施設で働いています。毎号一人ずつ紹介します。

連載

外国人介護士 紹介インタビュー

- Q なぜ日本に来ようと思いましたか?
- A 子供のころから日本の文化に興味があったからです。
- Q 日本に来て驚いたことはありますか?
- A 接客や顧客サービスが親切丁寧で凄いとしました。
- Q 休日は何をして過ごしていますか?
- A 旦那さんと散歩をしたり、伊良湖岬など渥美半島の海を見に行きます。
- Q 好きな日本料理、苦手な日本料理はありますか?
- A 寿司・刺身が好きです。特に、サーモンとサバが好きです。ワサビが苦手ですが、それ以外は何でも食べれます。
- Q 日本で行ってみたい場所はありますか?
- A 北海道です。
- Q 最後に一言お願いします。
- A 後輩にとって頼れる先輩になれるように頑張ります!



パデリヨ ダニカ
ジェーン バノド
ニックネーム
ダニカ
田原福寿園
国籍：フィリピン



「機関紙ひまわり」 読者アンケートに ご協力お願いします

日頃から「機関紙ひまわり」をお読みいただきありがとうございます。より充実した紙面づくりのために、読者アンケートを実施いたします。ご意見・ご感想をお聞かせください。(回答は匿名で集計されます)



QRコードを読み取って、アンケートにお答えください



アンケート実施期間
令和7年3月末まで



令和7年1月10日発行

■発行/社会福祉法人 福寿園
■理事長/古田周作

愛知県田原市六連町神ノ釜9-3 ☎0531-27-0008
<https://www.fukujuen.or.jp>

ISO9001/14001 認証取得 ※ひまわりは再生紙を使用しています。



Instagram

facebook

YouTube

vol.179 16